

広域振興局長

提出者 北海道東北名鉄運輸株式会社
 住所 紫波郡矢巾町流通センター南2丁目4-12
 氏名 代表取締役 沢田 洋悦

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	北海道東北名鉄運輸株式会社 盛岡支店	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地		*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	kl	*施設番号	
自動車の使用台数	141 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡支店	紫波郡矢巾町流通センター南2丁目4-12	kl
北上支店	北上市流通センター 13-10	kl
水沢支店	奥州市水沢区卸町 2-7	kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

燃料別	保有台数	二酸化炭素の排出			燃料使用量対前年度比(%)
		燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	12 (1)	10,303 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	23,595 kg-CO ₂	
軽油	129 (0)	1,389,751 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	3,640,406 kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	141 (1)			3,664,002 kg-CO ₂	

- 備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

燃料使用量 : ガソリン 前年 12,959ℓ 本年度 10,303ℓ 前年比 79.5% -2,656ℓ 車両台数 +5台
 燃費比較、前年度、走行距離 170,690Km 燃費 13.17Km 本年度、走行距離 142,147Km 燃費 13.8Km
 前年比 104.78% 軽油 : 使用量、前年 1,363,574ℓ 本年度 1,389,751ℓ 前年比 101.9% +26,177ℓ
 燃費比較、前年度、走行距離 6,047,178Km 燃費 4.33Km 本年度、走行距離 6,551,283Km 燃費 4.71Km
 車両台数-2台、老朽化車両の代替え、輸送効率化を図り、車両の絞り込みを行った。

【具体的な取組状況】

- エコドライブ 駐車時、アイドリングストップを実践励行している。仮眠施設で休息を取るよう指導している。エコドライブを推進、急発信・急加速をしないよう指導教育している。
- 輸送の効率化 集配作業の見直しを行い車両台数の削減、効率化を図っている。
- 電動車 次年度の車両代替え計画にて電気自動車・ハイブリッド車の導入を検討していく。
- 自動車利用抑制 毎月実施の店所長会議・各種会議をリモートWeb 会議に切替えている。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項